

# 府中市障害者計画 障害福祉計画（第8期）・ 障害児福祉計画（第4期）策定のための調査 障害福祉サービス事業所調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。  
府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和9年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画 障害福祉計画（第8期）・障害児福祉計画（第4期）」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市内の障害福祉サービス事業所にご意見やご要望をおうかがいするものです。今後、障害福祉サービスを進めていくための基礎資料として活用いたします。

ご回答いただきました内容は、「個人情報保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

※この調査はインターネット及び郵送のいずれかでご回答いただけます。  
調査の流れにつきましては、次ページに記載がございますので、ご確認をお願いします。

## 回答に当たってのお願い

1. 各質問に対し、調査対象となっている事業について回答してください。令和7年10月時点の東京都福祉保健局より提供されております登録事業所に送付しています。各事業所にて、ユニット（分館）をお持ちの場合は含めてご回答ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。  
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

**11月17日（月）**までに、ご回答いただくようお願いいたします。

### 【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課

TEL 042-335-4545

FAX 042-368-6126

E-mail: syougai01@city.fuchu.tokyo.jp

「  
」  
「  
」



## インターネット（パソコン・スマートフォン等）で答える

### ①調査票サイトにアクセスする

以下のURLか二次元コードを読み取り、調査票サイトにアクセスします。

URL： <https://jp.surveymonkey.com/r/Y7QKKC5>



### ②ログイン・回答する

調査票サイトのはじめに、表紙（前ページ）の右下に記載がある「インターネット回答用 ID」を入力し回答を開始してください。

調査票の表紙右下に記載がある「インターネット回答用 ID」を入力してください。

ID

### 【インターネット回答に関するご注意】

1. 回答を途中で中断すると回答内容は保存されないため、最後までご回答ください。
2. インターネットで回答した場合は調査用紙の提出は不要です。
3. 「インターネット回答用 ID」は、回答の重複を防ぐため付番しています。事業所を特定することはありません。



## 調査票に記入して郵送で答える

1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
2. ご回答いただいた調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月17日（月）までにご投函ください。なお、事業所名、所在地を記入する必要はありません。

## 貴事業所の概要についておたずねします

問1 貴事業所の活動状況についてお教えてください。

(1) 貴事業所の名称等についてお教えてください。

運営主体			
事業所名			
所在地			
ホームページの有無 (URL)	1. あり ( ) 2. なし		
担当者名		部 署	
電話番号			
FAX番号			
Eメール			

(2) 調査対象となっている事業(5つまで)の定員数と利用者数を記入してください。  
調査対象事業についてはP3をご参照ください。(令和7年9月1日現在)

	事業	現行の定員数	現行の利用者数(実績数)
1		人	人
2		人	人
3		人	人
4		人	人
5		人	人

※計画相談支援、障害児相談支援はモニタリング件数を計上してください。

※該当なしの場合は—(ハイフン)を記載してください。

※追加事業がある場合には余白へご記入ください。



問2 今後、具体的にどのくらいのサービス提供量を考えていますか。現時点での考えをご記入ください。人数は現行の定員数（問1（2））を基準に記入してください。

調査対象となっている事業についてご記入ください。

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の提供量の見込み	1	人	人	人	人	人
	2	人	人	人	人	人
	3	人	人	人	人	人
	4	人	人	人	人	人
	5	人	人	人	人	人

※今後の提供量の見込み欄の番号は、問1（2）の調査対象となっている事業の番号です。  
 ※追加事業がある場合には余白へご記入ください。

問3 貴事業所の利用者で、ボランティア団体等が行う見守りや家事等のインフォーマルなサービスの希望はどのようなものがありますか。（いくつでも○）

1. 安否確認の声かけ
2. ちょっとした買い物やごみ出し
3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い
4. 食事の提供（会食・配食など）
5. 通院や外出の手助け
6. 電球交換や簡単な大工仕事
7. 話し相手や相談相手
8. その他（）
9. インフォーマルサービスの希望はない

### 事業運営についておたずねします

問4 昨年度の事業の採算はいかがでしたか。（1つに○）

- |          |   |
|----------|---|
| 1. 黒字    | 4. その他                                      |
| 2. 赤字    | 〔具体的に： <span style="float: right;">〕</span> |
| 3. 損益はない |   |

問5 運営上の不安は次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. サービスに見合う収益が見込めるか
2. 十分な利用者が見込めるか
3. 他施設と競合しないかどうか
4. 初期負担の投資金額が大きいこと
5. 人材の確保・育成
6. 有資格者の不足
7. その他〔具体的に： ]
8. 特に不安はない

問6 貴事業所がサービスを実施するうえで難しい問題であると考えているのは、次のどのようなことですか。(いくつでも)

1. 育成・定着が難しい
2. 経営経費・活動資金が不足している
3. 報酬が低く、実態とみあわない
4. 収益の確保が難しい
5. 事務量が多すぎる
6. 利用希望者が多く受け入れが難しい
7. 施設規模の面でさらなる利用者の受け入れが難しい
8. 施設が老朽化している
9. ITシステム等の導入が難しい
10. 利用者に対する情報提供が難しい
11. 利用者ニーズの把握が困難である
12. マネジメントやサービスの質の向上が十分でない
13. 情報の入手や活用のしかたが十分ではない
14. 行政や施設間の連携が十分ではない
15. その他〔具体的に： ]
16. 特に問題はない



## 人材の確保・育成・定着支援等の課題と方策をおたずねします

問9 人材の確保・育成・定着についてどのような課題がありますか。  
(いくつでも○、もっとも効果があったものに1つ◎)

1. 採用募集をかけても応募がない
2. 採用への応募はあるが条件を満たしていない場合が多い（マッチングが難しい）
3. 採用に向けた戦略・方針（キャリアパス含む）が明確になっていない
4. 採用に向けた経営経費・活動資金が不足している
5. 長期定着に向けた取り組みが十分にできていない
6. 処遇改善や働きやすい環境の整備が十分にできていない
7. 求人・求職情報の発信先が少ない
8. 仕事のやりがいや魅力を十分に発信できていない
9. その他〔具体的に： ]

問10 人材の確保・採用についてどのようなことに取り組んでいますか。  
(いくつでも○、もっとも効果があったものに1つ◎)

1. ハローワークを活用している
2. 民間の求人サイトに広告を出している
3. 法人や事業所のホームページから求人している
4. Instagram や Facebook 等のSNSを活用した情報提供を行っている
5. 職員や知人と連絡をとり人材についての情報提供受けている
6. 資格や支援経験を採用の条件にしていない
7. 福祉系の教育機関出身者であることを条件にしていない
8. 採用説明会や職場体験を実施している
9. 内定後のフォローを密に行っている
10. 人材紹介会社を通じた採用を行っている
11. その他〔具体的に： ]

問 11 人材の育成・定着支援としてはどのようなことに取り組んでいますか。  
(いくつでも○、もっとも効果があったものに1つ◎)

1. 残業を減らす、有給休暇を取りやすくする等労働条件の改善に取り組んでいる
2. 個人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる
3. ハラスメントのない人間関係の良い職場環境を目指している
4. 上司や管理職が定期的に面接を行い、要望や不満を聴取している
5. 法人や事業所内で定期的に事例検討会や研修等を開催している
6. 能力開発や資格取得の支援をしている
7. 仕事ぶりや能力に応じた昇進、昇格などを支援している
8. メンター制度等により新人職員への指導・育成をしている
9. 定着支援に関する他の事業所等との協力や連携を図っている
10. メンタルヘルス対策や悩み・不安等の相談を行っている
11. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問 12 人材の確保・育成・定着支援策として、府中市に期待することを自由にお書きください。

### 質の向上や権利擁護への取組についておたずねします

問 13 利用者の権利擁護について実施していることはありますか。(いくつでも○)

1. 弁護士等との連携（成年後見制度）
2. 社会福祉協議会との連携（地域福祉権利擁護事業）
3. 第三者・オンブズマン等から求めに応じ必要な情報を開示する
4. 担当者（窓口）の設置
5. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕
6. 特にない

問 14 貴事業所では苦情・意見等をとり入れるため、どのような工夫をしていますか。  
(いくつでも○)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 利用者・家族との面談を行う | 5. 連絡帳を利用している  |
| 2. 保護者会・懇談会等を行う  | 6. その他         |
| 3. 意見箱を設置している    | 〔具体的に： _____ 〕 |
| 4. アンケートを実施している  | 7. 特にない        |

問 15 サービスの質の向上を図るために、第三者評価が重要になっています。第三者評価を実施しましたか。(1つに○)

- |                   |   |                  |
|-------------------|---|------------------|
| 1. 実施した、実施している    | } | →問 16 へ進む        |
| 2. 実施していないが、実施の予定 |   |                  |
| 3. 実施の予定はない       |   | →問 15-1 にお答えください |

問 15-1 問 15 で「3. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。その理由は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 費用がかかりすぎる
2. メリットが分からない
3. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕

問 16 貴事業所において、障害のある人への支援の質の向上や権利擁護に向けて取り組んでいることを選んでください。(いくつでも○)

1. 虐待防止マニュアルやチェックリストを作成している
2. 虐待防止委員会を設置している
3. 障害福祉の理解や支援の質の向上に関する研修や学習を実施している
4. 職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示している
5. 虐待防止に関する責任者を定めている
6. 虐待事案の発生時の対応方法等を具体的に文章化している
7. 障害のある人やその家族、地域の人等に対し虐待の防止に関する普及・啓発を実施している
8. 地域における虐待防止について、事業者間の連携を図っている
9. 地域における虐待防止について、相談支援事業所、障害者等地域自立支援協議会や行政機関等との連携・協力をしている
10. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
11. 特にない

問 17 貴事業所がサービス提供するうえで、実際に虐待等の場面に遭遇したなどの経験はありますか。(1つに○)

1. 経験がある →問 17-1、17-2 にお答えください
2. 経験はない →問 18 に進む

問 17-1 問 17 で「1. 経験がある」と答えた事業所におたずねします。  
遭遇した事例の内容とその際にどのような対応をされたかお書きください。

問 17-2 問 17 で「1. 経験がある」と答えた事業所におたずねします。  
虐待が心配な世帯がありますか。(1つに○)

1. ある
2. ない

問 18 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なことは何だと思われますか。(いくつでも○)

1. 地域住民・企業等に向けた周知・啓発
2. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
3. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
4. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末等）等の活用
5. 障害者差別解消法に係るイベントの企画
6. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
7. 特にない

## 地域共生社会づくりについておたずねします

問 19 市では、障害に関する知識や障害のある人への理解を広め、お互いの個性を尊重し合い、つながり合い、支え合う地域共生社会を目指しています。地域共生社会の実現に向けて、様々な団体や事業者等との協働が求められています。貴事業所としてどのようなことができますか。(いくつでも○)

1. 事業所主催のイベントでの利用者と地域住民の交流の促進
2. 地域の住民や学校に対する福祉の普及啓発（講座や講演会の開催等）
3. 地域の集まりやイベントへの参加
4. ボランティア等の受け入れ
5. 施設への招待、施設見学の受け入れ
6. 地域住民に対する交流スペースの提供
7. 災害時の物資提供等の支援
8. 災害時の避難場所としての役割
9. その他（ \_\_\_\_\_ ）
10. 特にない

問 20 地域共生社会の実現に向けて、府中市民に意識を持ってもらう取り組みのほか  
に、貴事業所として何か協力できることはありますか。(いくつでも○)

1. 提供サービスの充実
2. 職員の知識や経験を活かした活動(職員の派遣、講座の講師等)
3. 地域内の関係機関とのネットワーク化
4. 情報等の提供
5. 物品等の提供・寄付金等
6. 金銭面での支援
7. その他( )
8. 特にない

問 21 災害時に事業所として協力できることはありますか。(いくつでも○)

1. 在宅サービス利用者への安否確認
2. 在宅の災害時要援護者の避難支援への協力
3. 施設を福祉避難所として活用することへの協力
4. 障害等のある人の避難場所へのヘルパー等人材の協力
5. その他〔具体的に: 〕

### 就労選択支援についておたずねします

※就労選択支援は、令和6年度制度改正で創設された事業で、これから就労系福祉サービスを利用するか、既に利用していて更新申請決定がある方を対象に、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する新たなサービス

問 22 就労選択支援についておたずねします。貴事業所では、就労選択支援サービスを事業化することを検討されましたか。(1つに○)

1. 検討した
2. 検討していない
3. わからない

問 23 貴事業所にとって、「就労選択支援」事業を行うことの最も大きなメリットは次のどれですか。(○は1つ)

1. 事前に本人の働き方のニーズを整理できること
2. アセスメントを通して一人一人に沿った選択肢が検討できること
3. 障害福祉サービスだけでなく、相談・支援全体への波及効果があること
4. 障害福祉サービス事業所の連携体制が測られること
5. 就労支援に係る人材の質の向上が図られること
6. その他〔具体的に: 〕
7. わからない

問 24 「就労選択支援」に取り組む最も大きな問題は次のどれですか。(○は1つ)

1. 報酬単価がみあわない
2. 事業所の連携体制がとれない
3. コーディネートのできる支援者、人材が不足している
4. 本人へのフィードバックや家族の理解が難しい
5. 就労的な福祉サービスへの資源が不足している
6. 地域的な協力体制が必要である
7. その他〔具体的に： ]
8. わからない

問 25 すべての事業所にお尋ねします。就労選択支援の拡充のためにどのような施策必要だと考えますか。(○は1つ)

1. 市の積極的関わりによる体制整備
2. 相談支援事業所や基幹相談支援センターとの連携
3. 就労アセスメントのフロー、評価方法の確立
4. 特別支援学級や放課後等デイ等との連携
5. 日中活動サービスとの利用調整
6. 就労関係機関相互の連携
7. 就労関係機関以外の事業所との連携
8. 本人のフィードバック方法
9. 支援員の育成・研修
10. その他〔具体的に： ]
11. わからない

医療的ケア児者、強度行動障害のある方への支援をおたずねします

問 26 貴事業所では医療的ケア児者に対する支援を受け入れていますか。

(○は1つ)

※医療的ケア児者：心身の機能に障害があり、呼吸や栄養摂取、排泄などの際に、医療機器やケアによる医療的生活援助行為を必要とする方たちです。

1. 受け入れている ⇒

受け入れているサービス

2. 今後受入れ予定 ⇒

予定時期：(            年            月頃/未定)

受入れを予定しているサービス

3. 受け入れていない

問 26-1 問 26 で「1. 受け入れている」と答えた事業所におたずねします。

医療的ケアを受け入れている児者の人数についてお答え下さい。

1. 未就学児 (        ) 人
2. 就学後～18 歳未満 (        ) 人
3. 18 歳以上 (        ) 人

問 27 医療的ケアの実施に当たって生じうる事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題などがあれば、お答えください。(いくつでも○)

1. 医療的ケア児者の体調管理や緊急対応ができるか不安
2. 医療的ケアの手技等が正しく行えているか不安
3. 利用ニーズがあるが、今以上の人数を受け入れるのは難しい
4. 医療的ケアのない利用者比べると、利用日数や回数を制限せざるを得ない
5. 医療的ケアを実施できる職員の確保が難しい
6. 利用者の急なキャンセルが多く、調整に苦労する
7. 特に課題はない



**貴事業所が特に力を入れていることについておたずねします**

問 29 事業所が、最も力を入れている点についてお書きください。

問 30 事業所が、利用者に対して、特に力を入れていることをお書きください。

## 市への要望についておたずねします

問 31 これからの府中市の障害福祉サービスの充実に向けて、どのようなことが必要だと思えますか。(いくつでも○)

1. 各種生活支援サービスの基盤整備
2. 地域生活に移行するための住まいの整備
3. 緊急時・災害時に障害者を支援する体制の整備
4. 障害のある人とその家族が安心して暮らせるための相談体制
5. 障害のある人が安定的に就労するためのシステムづくり
6. 障害者福祉と保健・医療との連携
7. 小規模施設の経営支援
8. 共生にむけた地域社会の理解の促進
9. 人材確保のための取り組み
10. 専門職の育成、確保のための各種支援策
11. 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の権利擁護のしくみづくり
12. その他〔具体的に： 〕

問 32 障害福祉サービスについてのご要望について、ご自由にお書きください。

問 33 利用者やその家族から寄せられた要望について、ご自由にお書きください。

———ご協力ありがとうございました———





